



「現代日本語の混乱と国語政策—現代かなづかい批判」

問題提起者：鈴木 一郎さん（塾員）

日時：2018年5月20日（日）13:30～16:30

会場：文京区湯島地域活動センター

参加者：5名

内容：討論塾では、現代日本語における「カタカナ英語」の氾濫を、日本人の言語感覚の劣化・腐敗として批判してきた。それに加えて、今回の討論会では、森鷗外、芥川龍之介、山田孝雄、橋本進吉、時枝誠記、石川淳、福田恒存らの国語観に基づいて、現代日本語の「現代かなづかい」の普及・流通を、戦後日本人の言語意識の浅薄化の表れとして、検証・批判するとともに、あるべき国語政策の在り方を考える。